



講演を聞く様子



講師の大塚教授



グループで意見発表しました



福祉センター職員の説明を聞きました

当日は、熊本県立大学の学生や町議会議員、地域おこし協力隊など約36人が参加。昨年度に引き続き、公会計を専門に研究する千葉大学大学院の大塚成男教授の講演のあと、菊水浄化センターと福祉センターの施設を見学。その後、グループに分かれて施設の課題や有効な活用方法について意見交換しました。

### 参加者の声



必要経費でコストとロスの考え方があることが分かりました。コストは必要経費で、ロス（無駄）を減らす必要があることが理解できました。



実際に自分たちの目で見ることの重要性が分かりました。



施設を利用する利点のアピールがもっと必要に感じました。また、余剰スペースがあり、施設の使い方がもったいないと感じました。

### まとめ

現在、町の財政状況は健全に推移していますが、人口減少や交付税縮減に伴い、今後の財政状況は非常に厳しくなります。

また、和木町は他団体と比較して1人当たりの資産保有額は多い傾向にあり、施設を現状のまま維持すると、施設の老朽化などにより維持管理費の増大が今後見込まれるため、施設の統廃合や縮小を行っていく必要があります。

このことから、町の財政状況について、みなさんにもっと関心を持っていただくための活動の一つとして、バランスシート探検隊を開催しています。

自治体を持つ資産を有効に活用し、無駄のない管理をしていくことが、これらの財政状況を考える上で必要です。

今後も広報などを通じて、町の財政情報をお知らせします。

問い合わせ先 本庁 総務課 財政係 ☎0968・86・5720

# 公会計をもっと身近に～見る・知る・考える企画～ バランスシート探検隊

10月17日に第2回バランスシート探検隊を開催しました。

バランスシート探検隊とは、千葉県習志野市で平成23年度に初めて実施された取組で、和木町でも町の財政状況をみなさんに知っていただくことを目的に行うものです。この取組をとおり、税金がどのように使われているか、公共施設のあり方などを考える企画です。

この事業は、公会計の研究、普及活動を行っている公会計改革ネットワーク（JAGA）と連携して実施し、「高校生でもわかる」財務書類の作成を目標に、大学生と高校生とともに進めていくことが特徴です。その後、愛媛県砥部町や鹿児島県の和泊町などでも実施されています。和木町では、昨年度に引き続き2回目の開催となります。

### バランスシートとは

バランスシートとは、土地、建物といった資産と、それらを取得するのに必要となった負債（借金）や純資産を示した指標のことです。

## バランスシート



- ①**資産**（財源を使って取得した自治体の財産）  
例）道路、学校、土地
- ②**負債**（返済する必要がある財源）  
例）地方債など
- ③**純資産**（返済する必要がない財源）  
例）税金、地方交付税など



負債が多ければ、将来世代の負担は大きくなります。現世代と将来世代の負担をバランスよく保つことが必要です。